

健康コラ〜

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

森山あずさ(看護師) 専門学校を卒業後、出雲市の病院で3年間勤務していましたが、日々多くのことを吸収し、一日でも早く、町に貢献できるように努力していきたいと思っております。よろしくお願いたします。



土井七海(臨床検査技師) 雲南市出身で、まだ飯南町について分からないことばかりですが、町の良さを知り、好きになっていきたいと思っております。社会人1年目ですが、経験を積んで少しでも早く一人前になって、町のために私ができることを精一杯頑張りたいと思っております。



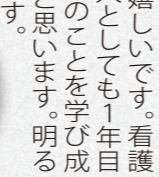
飯南 便り

新規採用 職員を 紹介します

竹田和希(医師) 平成25・26年度に飯南病院で勤務した後、3年間、松江市立病院で胃・大腸・肝・胆嚢・膵臓などの疾患を対象とする消化器内科で専門的な知識を学びました。特に、早期胃癌の内視鏡検査・手術をたくさん学んできましたので、その経験を生かしていきたいと思っています。消化器病専門医・内視鏡専門医も取得予定です。消化器疾患はもちろんですが、それ以外の疾患もしっかり診療します。まちの医療・保健・福祉に携わり、健康維持のお役に立てるよう精一杯頑張ります。



平野 愛(看護師) 3月まで益田市にある石見高等看護学院で3年間勉強してきました。飯南病院で看護師として働くことができ嬉しです。看護師としても社会人としても1年目ですが、日々多くのことを学び成長していきたいと思っております。明るく元気に頑張ります。



田部 伶奈(管理栄養士) 岡山県の大学を卒業し、地元飯南町へ帰ってきました。生活の一部である「食」を大切にしたい。興味を持ち、楽しい時間だと感じてもらえるように、「食」を通して町に貢献できたらと思います。社会人1年目で勉強の毎日ですが、笑顔で頑張ります。



保健福祉 便り センター

母子手帳の受け取りは事前にお電話を
母子手帳の受け取りの際は、事前に保健福祉課・保健師(72-1770)まで電話で連絡をお願いします。また、手帳交付の際は、保健師・栄養士からお伝えしたいことがありますので、お時間がかかることを了解のうえ、お越してください。
5月31日は世界禁煙デー
5月31日は、世界保健機関(WHO)が定める「世界禁煙デー」で、日本では5月31日から6月6日までを「禁煙週間」としています。喫煙は、がんや心疾患、脳血管疾患、慢性閉塞性肺疾患の原因になり、

●保健師地区担当・業務担当を紹介します。健康教室やサロンなどで、各地区におじゃまします。よろしくお願いたします。



糖 尿 病 や 高 脂 血 症、 歯 周 疾 患 を 悪 化 さ せ る と さ れ て い ま す。 ま た、 喫 煙 は 喫 煙 者 本 人 に と ど ま ら ず、 周 圍 の 人 へ の 影 響 も 大 き い こ と から、 法 律 で 受 動 喫 煙 の 防 止 が 定 め ら れ て い ま す。 自 分 や 大 切 な 家 族 の た め に、 禁 煙 を 考 え て み ま せ ん か？

こんにちは 中山間地域研究センターです。



センター内にある 島根県立 農林大学校 林業科に 新入生10名が入学

総勢17名での飯南町生活が スタートしました

林業の未来を私たちが切り拓きます！ 島根県立農林大学校の林業科では、3月に8名の卒業生を林業事業体に送り出しました。年度が替わった4月12日には、地震の影響も無く、農業科23名・林業科10名の新入生が、期待と不安を胸に農林大学校に入学しました。

普段は、17名全員が下赤名(千束)の飯南寮で、自炊をしながら寮生活をしています。地域の皆さまに、ご迷惑をかけないように生活しているつもりですが、まだまだ未熟な若者たちです。温かい目で見守っていただきますようお願いいたします。

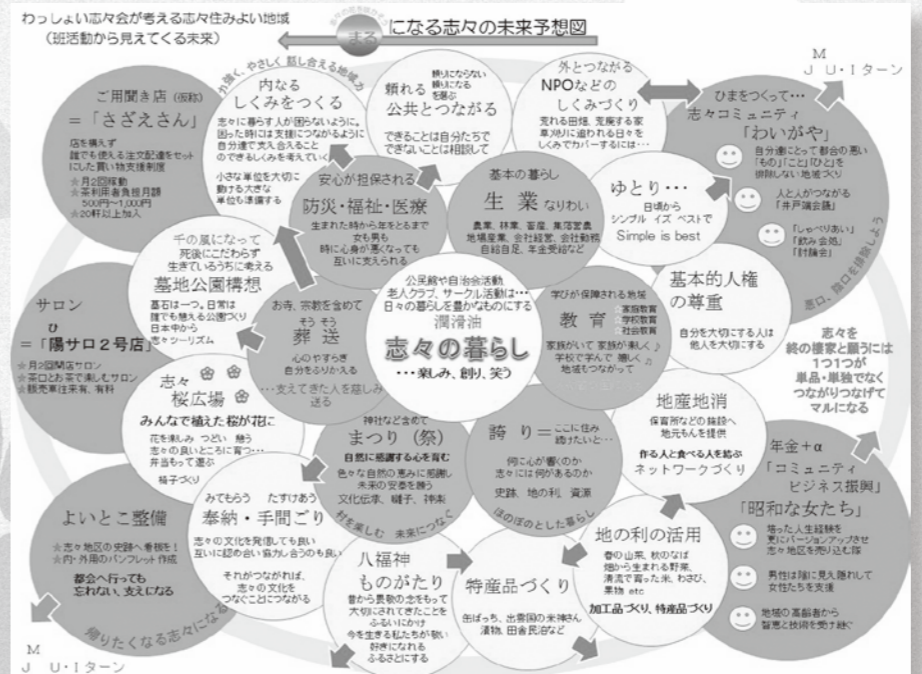
林業科では、森林・林業に関する知識と高度な技術を身に付けるため、中山間地域研究センター内で講義や実習を行っています。現在、2年生7名、1年生10名の、総勢17名(うち県外出身4名)の学生が林業技術の習得に励んでいます。

島根県立農林大学校 林業科 電話0854・76・2100 林業科の授業、実習等の様子をブログで紹介しています。 <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai>

●中山間地域研究センター 電話 0854・76・2025 <http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>

「志々の未来予想図」の実現に向けて!

志々地区集落支援員の桐原 敏で す。志々地区では、住みよい地域創造事業を活用して平成26年度に「志々の未来予想図」をつくりました。最終目標は、①高齢になっても安心して暮らせる地域、②若い人が生



住みよいまちへ 集落支援員 町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介いたします。

計を立てられる地域。これらを目指して、活動を支援していきます。今年度は継続事業として、「陽サロ2号店」「買物支援ショップ『ささえさん』」「声掛け訪問」の実施。また、新しく「集いの場づくり(赤ちようちんの日、昼カフェ、夜カフェ、DVD鑑賞会)」「墓地公園構想の具現化」「志々地区防災計画の策定」「地域に即したデマンドバス運行の検討」など、地域のいろいろな課題解決と「志々の未来予想図」の実現に向け検討をしていきます。